

大阪市会議員 **とこだまさかつ** 市政報告 第23号

発刊日
H27.9.13

● 下新庄版 ●

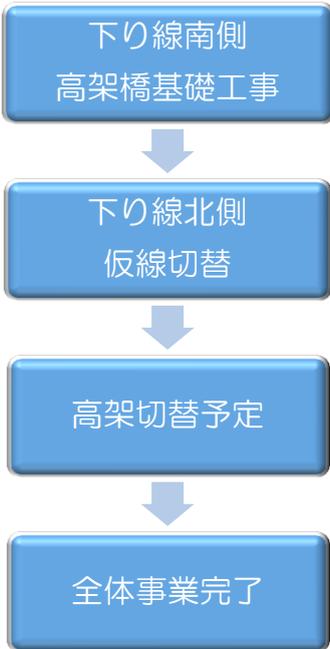
下新庄駅付近 イメージパース (案)



下新庄のまちづくりを
ご報告します！



※本図は現時点でのイメージであり、今後変更することがあります。



新下新庄駅の新しいイメージ図が完成しました！

阪急京都線・千里線連続立体交差事業は、阪急淡路駅付近の約 7.1km において鉄道を高架化することにより 17 箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図ることを目的とした事業です。

平成 6 年に都市計画決定、平成 9 年に都市計画事業認可を経て、平成 26 年度末の進捗率は、用地取得率が約 89%、高架工事進捗率は約 23%となっており、下新庄駅の北側では、仮設のための盛土工事・架道橋工事が平成 26 年度末に完成し、現在電気・軌道工事を進めています。平成 27 年度末には下り線の仮線切替を行う予定です。下新庄駅の南側（新幹線北側）では、平成 27 年秋頃から高架橋基礎工事を進めていきます。

事業全体として、平成 29 年度に高架切替予定・平成 32 年度に事業完了予定となっております。（今後の用地取得の見通しを加味して、事業行程の見直しを進めております）

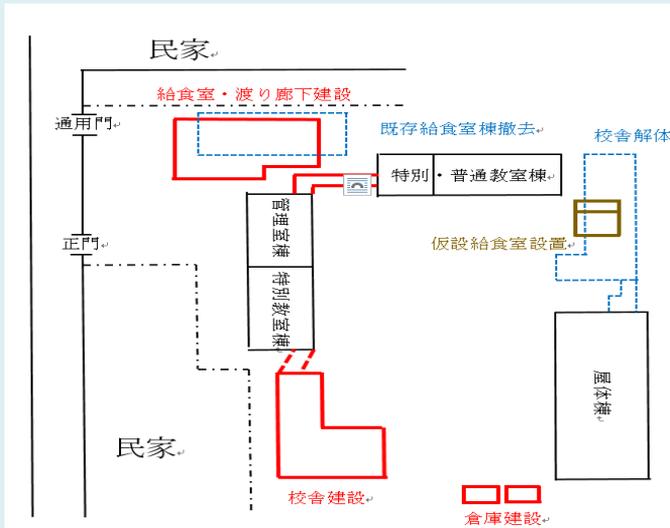
完成予想図です



道路と鉄道を立体交差化することにより、次の整備効果が期待できます。

- 1 踏切がなくなり、交通渋滞や踏切事故が解消。
- 2 高架下の空間を自転車置き場、駐車場や地域集会所など有効利用することにより地域活動やまちづくりに寄与。
- 3 地域の分断が解消され、踏切渋滞による経済的損失もなくなるとともに、市街地の一体化を図る。
- 4 側道整備により、地域の生活環境や利便性が向上。
- 5 鉄道運行の安全性の増大、踏切経費の節減等。

下新庄小学校創立 60 周年にあわせて校舎を建て替えます！



※本図は現時点でのイメージであり、今後変更することがあります。

給食室棟・渡り廊下 工程表

新校舎 工程表



※工程は現時点での予定であり、今後変更することがあります。

下新庄小学校は、昭和 33 年に大阪市立新庄小学校から分離独立し、平成 27 年 3 月までに 5,781 名の卒業生を送り出されるとともに、下新庄連合と共に歩いてこられました。

その下新庄小学校が、平成 30 年には創立 60 年目を迎えます！

創立 60 周年を記念して、地元・PTA の皆様と協議の結果、校舎の建て替えを行うことに決定し、平成 27 年度予算ですでに設計が進み、その内容が概ね決定をしました。

来年度から着工する予定で、平成 31 年度に全て完成する予定です。

市政のご相談は

とこだ正勝 事務所

〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-17-13
 TEL 06-6322-1631 FAX 06-6322-1641
 mail : tokoda@sea.plala.or.jp

